ORVIS

第65期 中間報告書

2023年11月1日～2024年4月30日

株式会社オービス　証券コード：7827

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第65期第２四半期連結累計期間（2023年11月1日～2024年4月30日）の中間報告書をお届けいたしますので、ご高覧いただき、当社グループへの一層のご理解を賜りたいと存じます。

当社は、中期経営計画「NEXT STEP 10」の最重要施策であるMグレード認定工場の取得（ハウス･エコ事業）を目指して準備を進めておりましたが、2024年3月に重量鉄骨の製作において確かな「技術力」を有し、1つ上のHグレードを保有する寿鉄工株式会社を当社グループに迎えました。軽量鉄骨と重量鉄骨、得意分野が違う2つの会社が一緒になることで、倍以上の「力」が発揮できると考えております。今後はグループ間の情報共有や連携をより一層強化し、優秀な人材の獲得や技術力の継承、各種設備の更新に努めるなど、引き続き経営基盤の強化を図る所存であります。

その結果、第２四半連結期累計の売上高は59億8百万円、営業利益は3億4百万円、経常利益は3億10百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益として賃貸用不動産等の売却に伴う固定資産売却益81百万円の計上により2億54百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長　中浜勇治

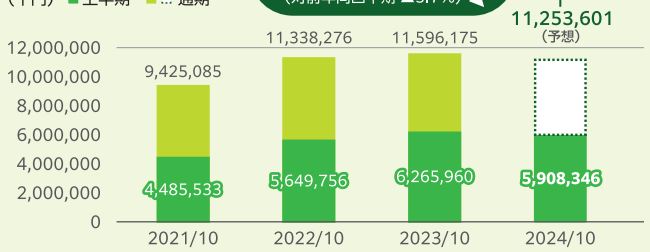
業績ハイライト

POINT 01 売上高は、木材事業においてマーケットが低迷を続ける中、販売価格は維持したものの、製品出荷量はわずかながら減少いたしました。なお、寿鉄工株式会社の連結損益計算書への貢献は、第３四半期からとなります。

POINT 02 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に賃貸用不動産等の固定資産売却益２億76百万円（当四半期は81百万円）計上の反動減によるものであります。

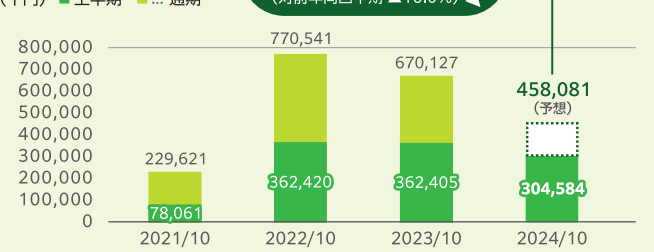
売上高

5,908,346千円（対前年同四半期 ▲5.7%）



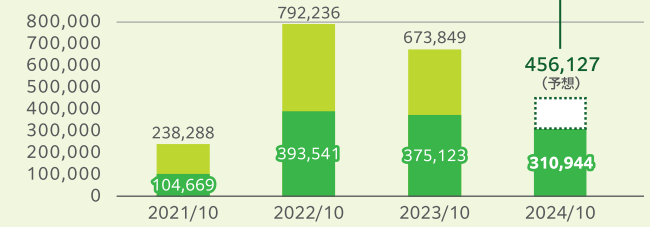
営業利益

304,584千円（対前年同四半期 ▲16.0%）



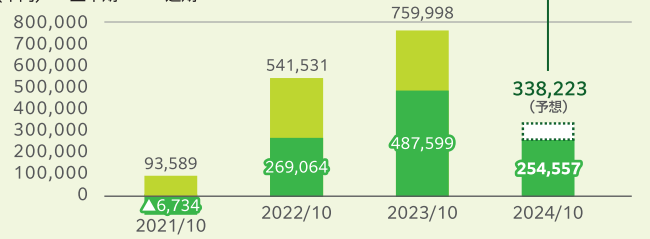
経常利益

310,944千円（対前年同四半期 ▲17.1%）



四半期（当期）純利益 又は親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

254,557千円（対前年同四半期 ▲47.8%）



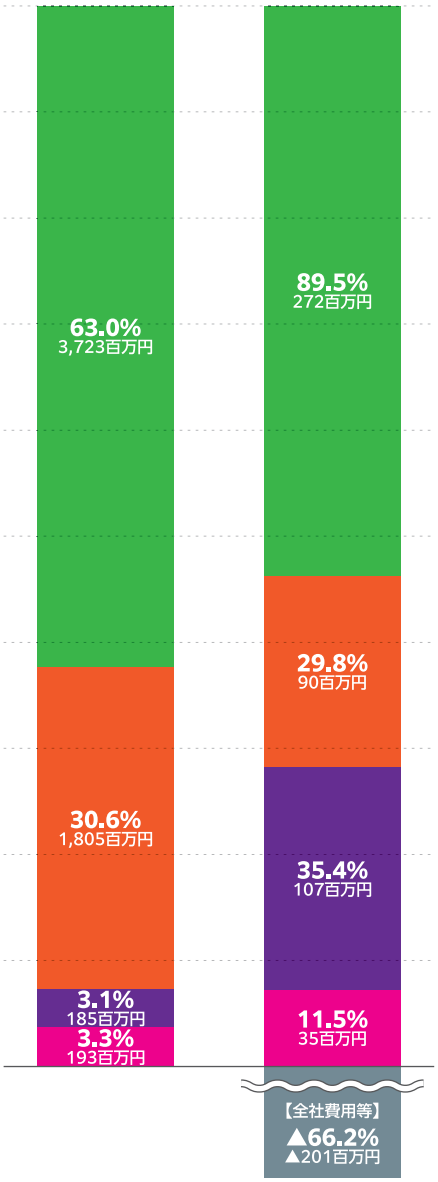
※当社は、2024年10月期第２四半期決算より連結決算に移行しました。従いまして2021/10から2023/10は個別数値（参考情報）を、2024/10は連結数値をそれぞれ記載しております。なお、参考情報として対前年同四半期の増減率を記載しております。

事業領域別の概況

※営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

売上高

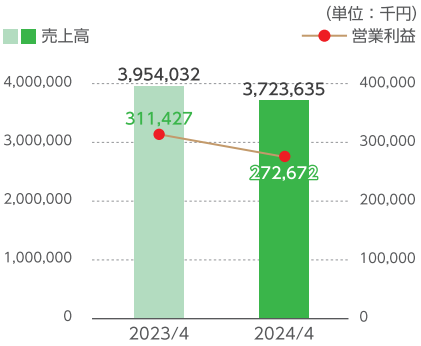
2024年度（上半期）
5,908百万円



営業利益

2024年度（上半期）
304百万円

木材事業



売上高

2024年度(上半期)
3,723,635千円
(対前年同四半期 ▲230,396千円)

営業利益

272,672千円
(対前年同四半期 ▲38,754千円)

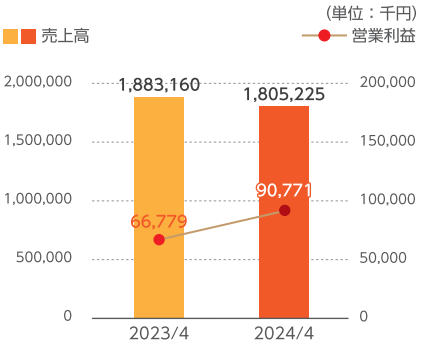
為替円安の影響によりコスト高となっている外国産材から、コスト競争力が高く、販売価格が安定している国産杉への切り替えを提案し、シェアの拡大を図りました。しかしながら、梱包用材等の業界は中国経済の減速により厳しい受注環境が続いており、減収減益となりました。

2024年度(予想)
7,207,454千円
(対前年同期 ▲272,876千円)

399,334千円
(対前年同期 ▲97,340千円)

梱包用材等の市況は厳しい状況が続いているため、非住宅木造市場への販路を拡大いたします。建築業界の脱炭素化を国が法律の整備等で後押ししているため、柱や壁等に使用される集成材の材料である杉製材品の販売を強化してまいります。

ハウス・エコ事業



売上高

2024年度(上半期)
1,805,225千円
(対前年同四半期 ▲77,935千円)

営業利益

90,771千円
(対前年同四半期 +23,992千円)

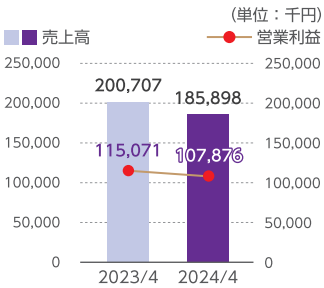
2024年４月から適用された働き方改革関連法案への対応等により人材不足が一層深刻化しておりますが、価格転嫁の遅れによって悪化していた利益率が若干改善され、減収増益となりました。

2024年度(予想)
3,181,419千円
(対前年同期 +2,484千円)

74,248千円
(対前年同期 ▲44,282千円)

連結子会社となった寿鉄工株式会社と大手ゼネコンを中心に営業活動の強化を図るものの、大型物件の受注見込みが少なく引き続き営業活動に注力し、受注済物件での利益率の向上に努めてまいります。

太陽光発電売電事業



売上高

2024年度(上半期)
185,898千円
(対前年同四半期▲14,808千円)

営業利益

107,876千円
(対前年同四半期▲7,195千円)

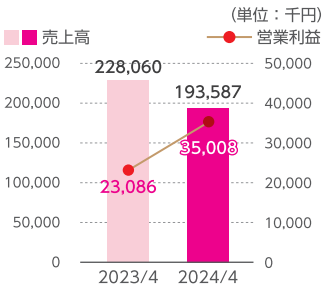
日照時間が天候不良により短くなったことに加え、パワーコンディショナの交換等により、減収減益となりました。

2024年度(予想)
440,740千円
(対前年同期▲17,412千円)

270,158千円
(対前年同期▲14,121千円)

定期的なメンテナンスや発電阻害要因の排除に努めるなど、発電効率の向上による安定した稼働の維持に努めてまいります。

ライフクリエイト・不動産事業



売上高

2024年度(上半期)
193,587千円
(対前年同四半期▲34,473千円)

営業利益

35,008千円
(対前年同四半期+11,921千円)

前事業年度末に不採算であったフィットネスクラブを譲渡いたしました。なお、賃貸用不動産２棟の譲渡により不動産事業から撤退したため、減収増益となりました。

2024年度(予想)
423,988千円
(対前年同期▲54,769千円)

86,627千円
(対前年同期+13,134千円)

ゴルフ場において、更に顧客満足度を上げるべく、コースメンテナンス及びクラブハウス等の施設を整備し、引き続きサービスの充実、付加価値の向上に努めてまいります。

※当社は、2024年10月期第２四半期決算より連結決算に移行しました。従いまして2024/4は個別数値（参考情報）を、2024/4、2024年度（予想）は連結数値をそれぞれ記載しております。なお、参考情報として対前年同四半期、対前年同期の増減額を記載しております。

TOPICS

ハウス・エコ事業

2024年3月5日 寿鉄工を子会社化

当社は国が認定する鉄骨製作工場で、5段階あるうち上から4番目のRグレード認定を取得しております。今後更なる事業発展を遂げるためには早期に重量鉄骨製作（内製化）の領域へ進出することが不可欠であるとの認識のもと、寿鉄工株式会社は上から2番目のHグレード認定を保有しており、工場から高層ビルまで幅広い建築物の鉄骨製作が可能となっております。

Superグレード

Highグレード

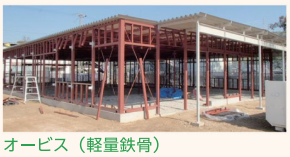
建物規模：高層・大規模
延床面積：制限なし
高さ　　：制限なし

寿鉄工（重量鉄骨）

Middleグレード

Regularグレード

建物規模：中層・中小規模
延床面積：3,000㎡以内
高さ　　：20m以下(5階以下)



オービス（軽量鉄骨）

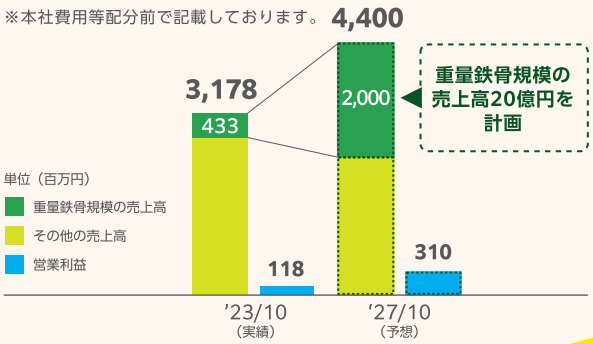
Juniorグレード

ORVIS
オービスグループ
として始動

寿鉄工株式会社
子会社化

売上・利益計画

※本社費用等配分前で記載しております。



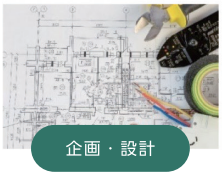
中期経営計画『NEXT STEP 10』の達成
（2027年10月期 売上高130億円以上、営業利益10億円以上）に向けて
名実ともに 新たなステージへの 第一歩を踏み出しました

顧客満足度の向上
設計~引渡一貫体制
顧客対応力UP
製品ラインナップ拡充

収益力の向上
コスト競争力UP
新規販路開拓
受注拡大
工場稼働率UP
利益率向上

技術力の向上
設計・施工技術共有
品質管理技術継承
技術者交流組織活性化

寿鉄工の子会社化により、軽量鉄骨製作＋重量鉄骨製作の内製化が実現



企画・設計

鉄骨加工

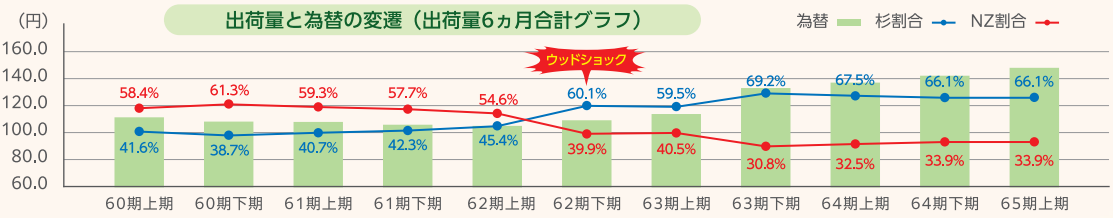
施 工

引渡し

木材事業

不況時だからこそ「コスト競争力」の更なる強化に努めます

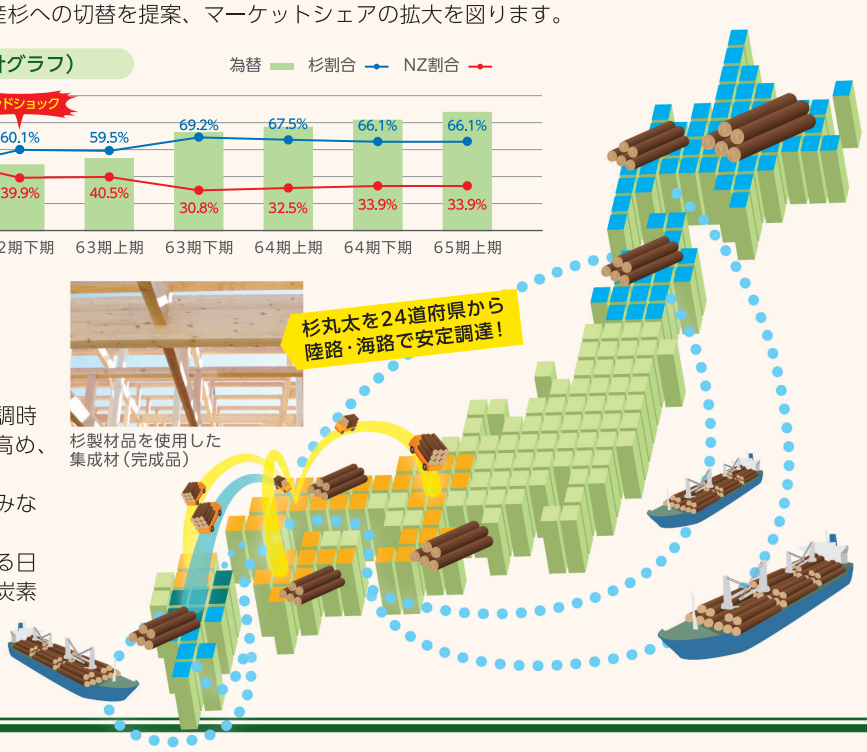
為替の急激な円安により外国産材はコストアップ。
そこで「コスト競争力」が高く販売価格も安定している国産杉への切替を提案、マーケットシェアの拡大を図ります。



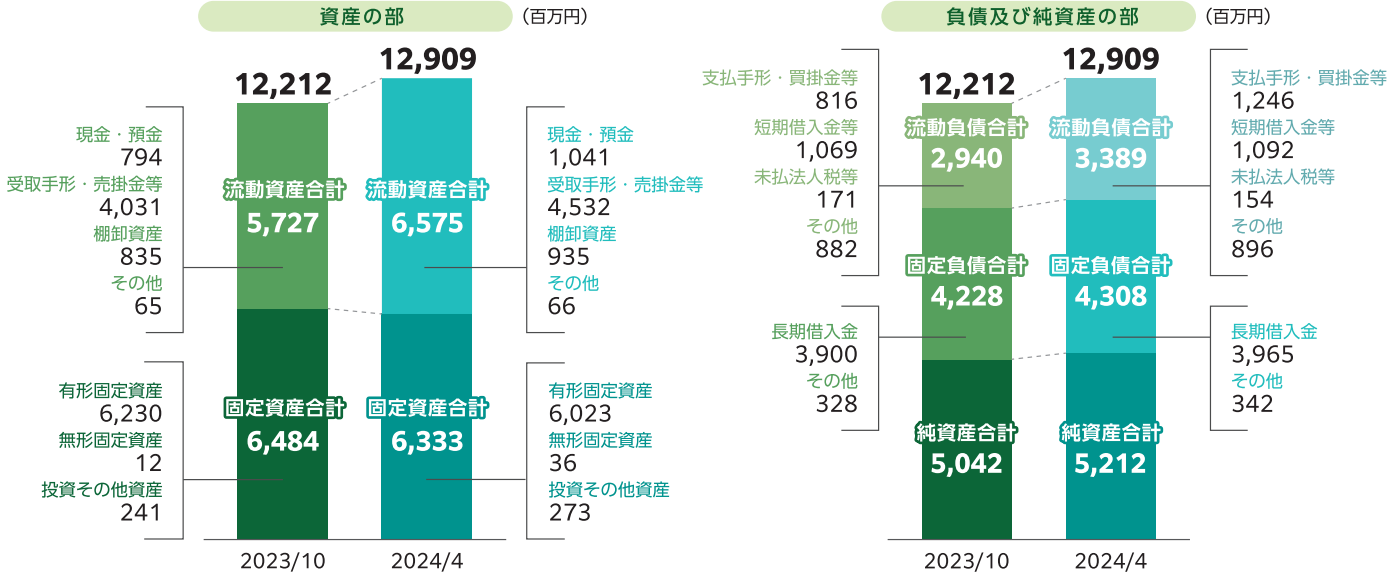
梱包業界不況時でも外部環境の変化を独自に分析し、黒字を確保できる体制を構築します

輸出用梱包用材等の市況享受型において梱包マーケット好調時には高い収益を獲得する一方、安定収益型の比重をより高め、業界全体が不況時でも黒字を確保することを目指します。
安定収益型では、パレット・電線ドラム・土木仮設用材のみならず、杉を活用した非住宅木造市場への販路を拡大します。
当社は杉丸太を日本全国から安定的に調達することができる日本有数の会社である強みを活かし、建築分野における「脱炭素化」の柱の１つである木材利用の促進によって、梁や柱等に使用される集成材の材料として杉製材品の販売を強化します。

杉製材品を使用した集成材（完成品）



連結貸借対照表の概要



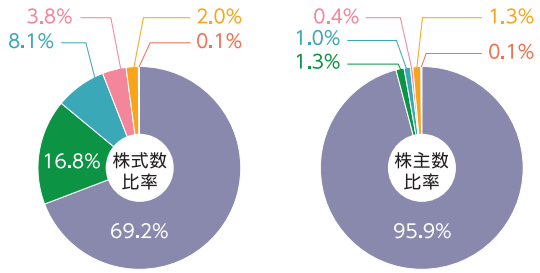
※当社は、2024年10月期第2四半期決算より連結決算に移行しました。従いまして2023/10は個別数値（参考情報）を、2024/4は連結数値をそれぞれ記載しております。

株式の状況

（2024年4月30日現在）

発行済株式の総数	株主数
1,767,104株 (うち自己株式 1,337株)	1,601名

株式・株主分布状況



大株主

〈上位10位〉（2024年4月30日現在）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
中浜　勇治	293,976	16.65
㈱和　幸	164,300	9.30
中浜　勇	142,937	8.09
鹿野産業㈱	51,900	2.94
肥田　亘	50,000	2.83
大阪中小企業投資育成㈱	44,000	2.49
宇藤　秀樹	43,000	2.44
藤井　實	42,900	2.43
山本　康司	40,000	2.27
㈱SBI証券	39,100	2.21

(注)持株比率は、自己株式1,337株を控除して計算しています。

会社概要

（2024年4月30日現在）

商号	株式会社オービス
設立	昭和34年(1959年)11月
資本金	703,974,583円
従業員数	186名 (外、平均臨時雇用者18名※1日8時間換算)
本社所在地	広島県福山市松永町六丁目10番1号
監査法人	有限責任 あずさ監査法人

役員

（2024年6月14日現在）

代表取締役社長	中浜　勇治
専務取締役	梅田　孝史
常務取締役	谷本　泰
取締役	井上　清輝
取締役	土田　光典
取締役	川岡　公次
取締役(社外)	小山　幹夫
常勤監査役(社外)	松村　清治
監査役(社外)	長井紳一郎
監査役(社外)	近藤　哲英

株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年1月開催
一単元の株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年10月31日 期末配当　毎年10月31日 中間配当　毎年 4月30日
公告の方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。 [公告掲載URL] https://www.orvis.co.jp/ir_advertising/
上場証券取引所	東証 スタンダード市場
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先) (電話照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 0120-288-324

ORVIS
株式会社オービス
〒729-0104 広島県福山市松永町六丁目10番1号
TEL. 084-934-2621　URL https://www.orvis.co.jp

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。